

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立介護実習普及センター	所管課	福祉保健部 健康長寿推進課
所在地	甲府市北新1-2-12	設置年月日 (改築年月日等)	平成9年4月1日
指定管理者	社会福祉法人山梨県社会福祉協議会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立介護実習普及センター設置及び管理条例		
設置目的	高齢者の介護に関する知識及び技術を普及し、もって高齢者の福祉の向上を図るため。		
主な施設内容 (定員等)	山梨県福祉プラザ1階 (447.30㎡) 福祉用具展示室(160.05㎡)、介護実習室(142.60㎡)、事務室(29.58㎡) 調理実習室(68.75㎡)、相談室(13.20㎡)、自助具室(13.12㎡)、 倉庫(20.00㎡)		
主な業務内容	(1)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (2)高齢者の介護に関する講座及び研修の実施に関する業務 (3)高齢者の介護に関する相談及び情報提供に関する業務 (4)高齢者の介護用機器に関する展示に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	
---------------------	--

## 3 利用状況

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用者数	利用者数	11,521	11,801	13,126	
	(うち受講者数)	(2,900)	(3,379)	(3,508)	
	利用者数合計	11,521	11,801	13,126	
	目標値	9,724	10,210	10,934	11,376
	目標値設定の考え方及びその理由	<b>【H21～H25】</b> ・H20の利用想定人数を8,400人として、毎年、対前年度比5%アップを目標とする。 <b>【H26～】</b> ・H25年度目標から5年後10%増を目標に、対前年比2%アップを目標とする。			
	対25年度比	-	102.4%	113.9%	98.7%
利用率		81.2%	97.1%	100.8%	100.0%

## 4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	35,197,081	35,639,853	35,639,853	35,852,538
	その他	25,500	96,000	19,000	96,000
	収入合計(A)	35,222,581	35,735,853	35,658,853	35,948,538
支出	人件費	20,951,168	20,482,417	20,981,524	20,679,348
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	12,369,400	15,253,436	13,622,983	15,269,190
	うち外部委託費(B)	0	0	0	0
	支出合計(C)	33,320,568	35,735,853	34,604,507	35,948,538
収支差額(A-C)		1,902,013	0	1,054,346	0
外部委託比率(B÷C)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
利用者一人当たりの経費		2,982.6	3,259.5	2,715.2	3,151.6

## 5 利用者満足度

<b>実施方法等</b>	実施時期：平成27年4月～平成28年3月 実施方法： ①テーマ別介護講座受講に関するアンケート ②認知症サポーター養成講座受講に関するアンケート ③介護職員研修受講に関するアンケート ④展示に関するアンケート 回答数：①61人②920人③453人④284人
--------------	--

単位：%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①講座の評価(講義)	82.0%	18.0%	0.0%	0.0%
①講座の評価(実技)	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%
②講座の評価	57.2%	40.6%	1.7%	0.5%
③講座の評価	81.2%	18.6%	0.2%	0.0%
④展示の評価	85.2%	13.7%	1.1%	0.0%
施設全般の満足度	69.0%	28.2%	2.7%	0.1%

<b>利用者の意見</b>	<p>(講座)・知らないことが多く、勉強になりました。幾度学んでも勉強になります。何となく理解していた点がより明確になった。分かりやすい例が示され、理解に役立ちました。高齢者に対してやさしくできそうです。楽しい講座ありがとうございました。実技があって、学んだことが納得できよかった。不安が軽減できました。</p> <p>(展示)・実際に手に触って試すことが出来て良かった。種類が豊富で試すことが出来るのが良い。アイデア商品がすばらしく、細かい点が良い。知らない器具をいろいろと見せてもらった。障害のある人のことをすごくよく考えて作られている。多くの用具があるので、本人と一緒に来所したい。もう少し広さがあった方がいい。</p>
<b>利用者の意見への対応</b>	<p>・アンケートの集計結果では、満足・どちらかといえば満足という意見が多くなっているが、さらに満足度を高める必要があり、より充実した内容の講座や展示となるよう様々な工夫や内容の見直しに努める。</p>

## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学時の電動展示品など危険を伴う機器を作動させる時には必ず職員が立会い、ケガのないように努めた。</li> <li>・休憩時間等の消灯など節電に努め、光熱水費の縮減を行った。</li> </ul>	清掃、設備の点検が事業計画書どおり実施されており、安全な展示室づくりに努めている。
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座内容によって、参加者数にばらつきがある。</li> <li>・一般県民向けの介護講座に介護施設の新任職員が受講するケースが多い。</li> <li>・一般県民の受講が増えるようなPRを進めていきたい。</li> </ul>	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。定員に届かない講座もあるため、講座内容を検討し受講者のニーズに合わせた質の高いサービスの提供に一層努めていただきたい。
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座を中心に、講座受講者が前年度より3.8%増加した。</li> <li>・資料、教材の利用件数は全体で前年度より12.8%減少した。</li> </ul>	利用者数は、目標値及び前年度実績を上回っている。利用者ニーズの把握に努め、引き続き利用者増の取り組みを行っていただきたい。
収支状況	経常的な事務費の削減など予算の効率的な執行に配慮し、健全経営に努めた。	27年度の利用者1人当たりの経費は2,715円で、計画より481円下回るとともに、前年度より268円下回った。また、利用者数の増により利用者一人当たりの経費削減が図られている。
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動介助等の介護技術、車椅子の操作等団体からのリクエストに対応した内容の講座を実施した。</li> <li>・地域包括支援センター等から協力申請があった場合に、センター外にて介護機器・福祉用具の展示を行った。</li> </ul>	計画どおり適正に実施されている。
利用者満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果から、センター利用者の評価は概ね良かったと思われる。引き続き講座の内容、相談体制を充実させて利用者増につなげたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「満足」、「どちらかといえば満足」という意見が大半を占めている。</li> <li>・今後も利用者のニーズに沿った各種事業を進め、親切・丁寧な対応に努めていただきたい。</li> </ul>
運営目標の達成状況	利用者のニーズにきめ細かく対応することにより、利用者数が目標値に比べ1,973人上回り目標値を達成した。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・運営業務・自主事業等について、条例、協定等に基づき概ね適正に履行した。利用者数は目標値を達成し、前年度実績も上回っている。また、利用者一人あたりの経費も計画から481円下回るとともに、前年度実績よりも下回っている。今後、一層の利用者の増加を図るため、関係機関と連携を図りながら、講座内容、周知方法及び実施時期等の工夫に努めていただきたい。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	利用者数は目標値及び前年度実績を上回り、項目別に見ても展示来所者数及び講座受講者数で増加が見られた。今後は、関係機関との周知連携をより深め、家族介護者及び企業・団体等などにおける新たな利用者の掘り起しなどに努め、一層の利用者数の増加を図ることとしている。	

7 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在

